

自主・友愛・剛健

自分をしっかり表現できるようになった姿に…

3月11日(土)に、副町長様・町教育委員様・町議会議員の皆様、そして保護者の皆様に見守られながら、3年生66名が巣立っていきました。

式辞でも伝えましたが、今年の卒業生は中学入学前に新型コロナウイルスが流行し、3年間の全てをマスク着用で過ごしました。一生の中で成長著しいこの時期には、マスクの下の顔が大きく変わっていたと思います。卒業証書を渡しながらか、久しぶりに一人一人の顔を確認し、3年間の成長を感じることができました。入学時に自分の想いや考えを表現するのが苦手だった人も多かったのですが、表情や仕草も変化し、自分自身をしっかりと表現できるようになったと思います。また、様々な制限がある中でも、生徒会執行部が中心となって提案した「中央中学校の未来の学校像」をはじめとして、運動会・文化発表会、日々の生徒会活動や学年・学級活動において、ピアサポート(仲間を支え合う活動)を取り入れ、生徒自身の学校作りに取り組んでくれました。

さて、卒業式に参加してくれた在校生の皆さんは、この卒業式で何を感じてくれたでしょうか。卒業生が皆さんに残してくれたもの…。それは“答辞”の中にあつた「かけがえのない時間」「多くの人への感謝」という言葉、そして“別れの歌”での素晴らしいハーモニーで表現されていたのではないのでしょうか。一年先に皆さんがどのような表現をしてくれるのか、今から楽しみでなりません。



～式辞より(一部抜粋)～

渋沢栄一が残したとされる「夢七訓(ゆめしちくん)」という言葉をみなさんに贈ります。

**夢なき者は理想なし 理想なき者は信念なし 信念なき者は計画なし
計画なき者は実行なし 実行なき者は成果なし 成果なき者は幸福なし
ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず。**

幸福を求める人には、夢がないはずがない。幸せな人生は夢を持つところから始まる。幸せを求める人は「夢」を持ちなさいということです。夢は何回でも持つことができる。何回でもやり直せる。困難に直面しても、失敗しても夢を持ち続けてほしい。夢を持ち、理想を語るだけでなく、実際に計画し、行動に移してほしい。皆さんは、急速な時代の変化、そして先行きの見えない時代に生きていくからこそ、夢や希望を持ち続けてほしいと思います。

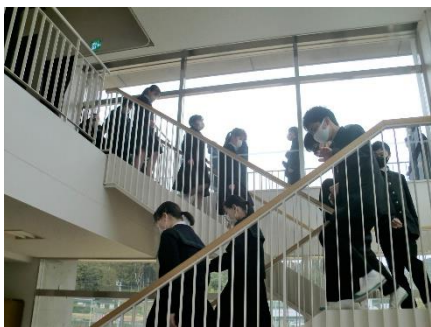


【4月の主な行事】 ※詳細につきましては、“中央中学校ホームページ”をご確認ください
 7日：着任式・始業式 10日：入学式（午後） 11日：1年交通安全教室
 11日：新入生オリエンテーション 12日：3年内科検診 14日：退任式
 17日：PTA評議員会・三役会 18日：全国・県学力状況調査 専門委員会
 19日：職員会議 20～21日午後：二者懇談（希望者のみ）※R5から
 28日：参観日・PTA総会 ※平日開催です

あれから12年… また、いつ起こるかわからない地震におきて

平成23年3月11日14時46分に起こった東日本大震災から、卒業式の日でちょうど12年になりました。今でもあの衝撃映像を忘れることができません。現在の中学生は、当時は3歳以下で、もちろん記憶には残っていないでしょう。大人でも、この近辺で大きな揺れを感じたのは平成28年の鳥取県中部地震が最後だと思います。

いつ起こるかわからない、忘れたころにやってくる恐ろしい地震に備え、毎年避難訓練を実施していますが、今年も2月13日に行いました。生徒たちは、しっかりと無言で落ち着いて避難を行いました。更に、今年は生徒会保健委員会が作成した「防災食クッキングに挑戦！」の動画資料を使用し、防災に関する意識の向上を図りました。ご家庭でも避難グッズの準備や避難したときの集合場所の決定など準備していただいていると思いますが、ぜひ防災食クッキングにも挑戦してみてください。



1年生がおかやま学びたい賞に応募しました！

1年生が総合的な学習で「地域学習」に取り組みました。地域の魅力を再発見し、発信することを目的にして、“中央地域のPRマップ”を作りました。地域に住んでいるからこそ分かる、町の観光マップには載っていない情報を選んで作成しました。クイズ形式の質問も織り交ぜながら素晴らしいものができました。できあがったマップは、右の写真のように“ミサキアエル”に掲示してもらっています。更に「おかやま学びたい賞」にも応募し、リモートではありましたが、代表生徒が発表しました。



つばやき…

ネット上に「放課後に家でオンラインゲーム」は問題か？という記事が載っていました。子どもたちが帰ったら何をしようかとの問いに、“ゲーム”でしょうかとの答え。そうです、オンラインゲームです。昔だったら公園で缶蹴りをしていた感覚で、オンラインゲームをしているんです。つまり、昔も今も子どもたちは「みんなと遊びたい」という欲求を持っていて、それが今はゲームという媒体に変わっただけなのです。しかし、その中には『ダイレクトコミュニケーション（人が顔を合わせて直接行うコミュニケーションのこと）』の重要性が書かれていました。ダイレクトコミュニケーションを行うことは、お互いに脳も心もフル回転させるから人間の成長にとって必要なことだと。朝、校門に立っていて、きれいな満開の河津桜の花を何人もが見ながら通っていく。そんな光景を“直接見る”だけでも心の中は春真っ盛りです。